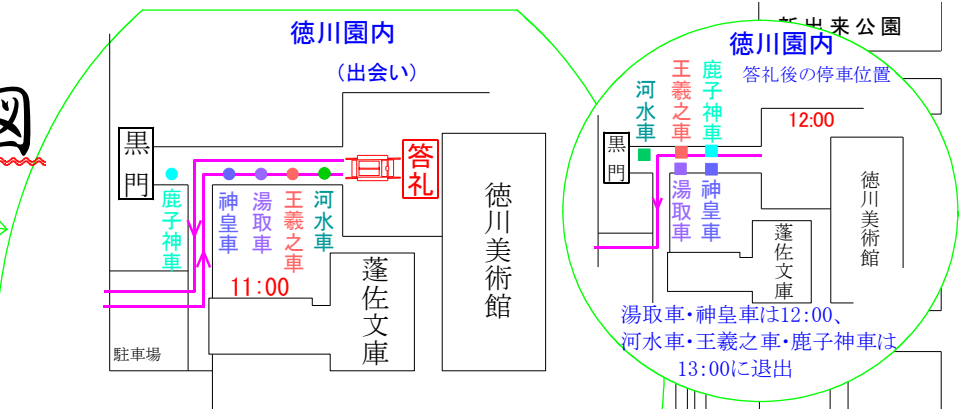
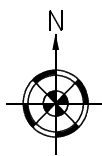
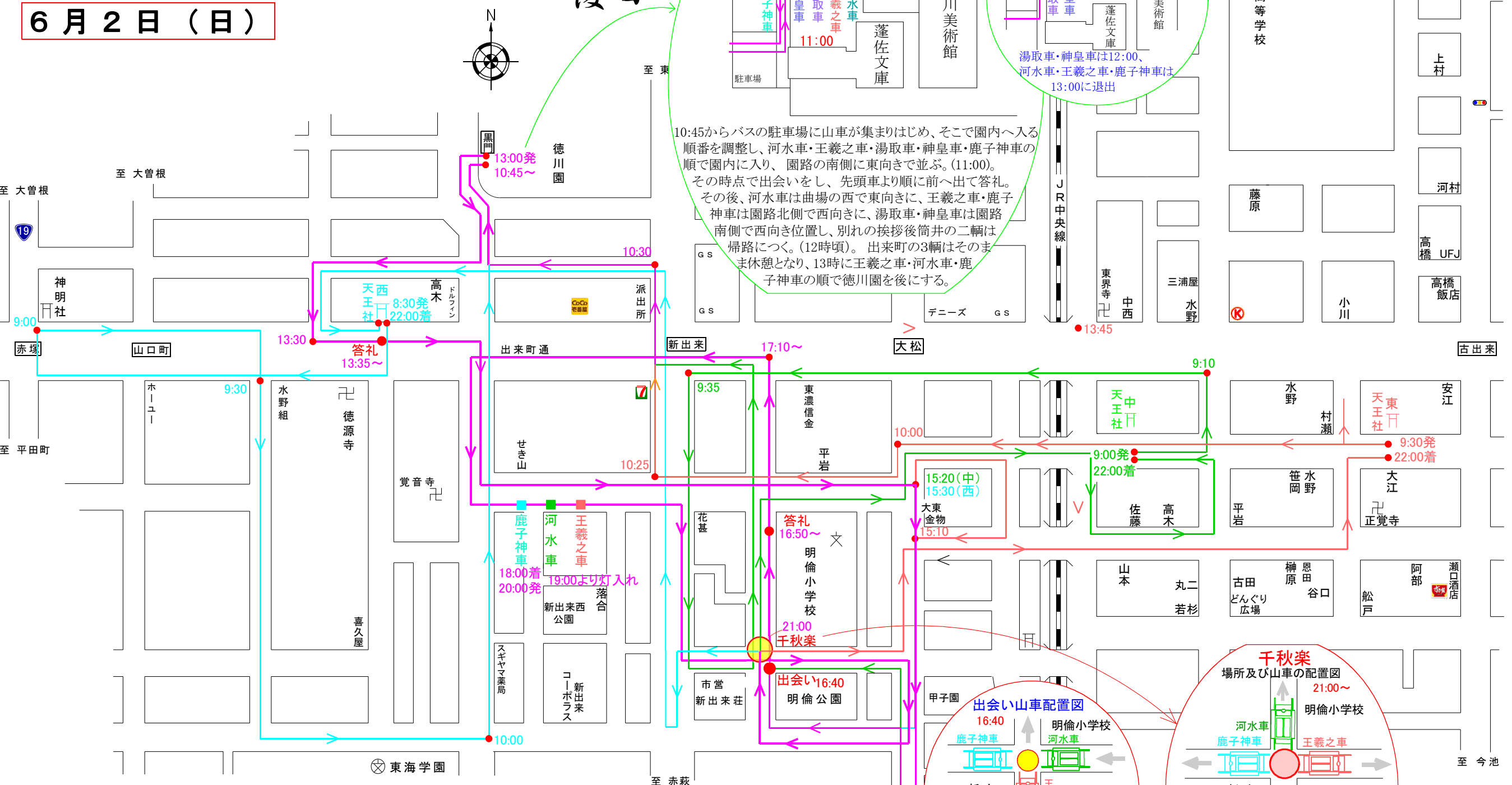


# 令和元年 出来町天王まつり山車曳行図 後日

6月2日(日)

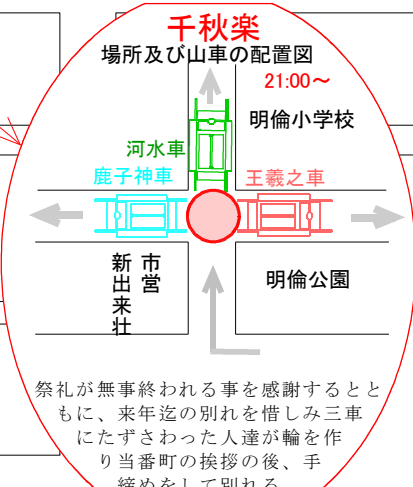
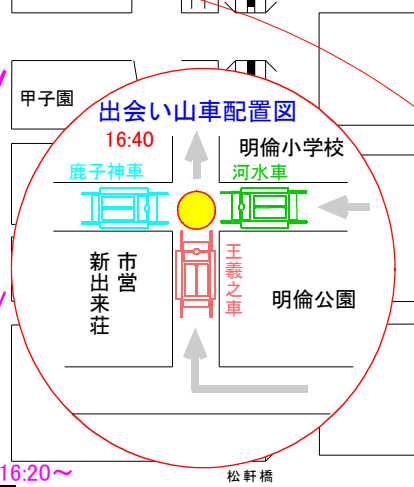


10:45からバスの駐車場に山車が集まりはじめ、そこで園内へ入る順番を調整し、河水車・王羲之車・湯取車・神皇車・鹿子神車の順で園内に入り、園路の南側に東向きで並ぶ。(11:00) その時点で出会いをし、先頭車より順に前へ出て答礼。その後、河水車は曲場の西で東向きに、王羲之車・鹿子神車は園路北側で西向きに、湯取車・神皇車は園路南側で西向き位置し、別れの挨拶後筒井の二輛は帰路につく。(12時頃)。出来町の3輛はそのまゝ休憩となり、13時に王羲之車・河水車・鹿子神車の順で徳川園を後にする。



- 王羲之車 (東之切) 古出来
- 河水車 (中之切) 出来町
- 鹿子神車 (西之切) 新出来
- 3 輛同コース (細線は 2 輛)

15:10頃から河水車・王羲之車・鹿子神車の順で大松通りに入り南進する。河水車・王羲之車は百人町交差点まで行きUターンする。その後、明倫公園の南東の三叉路から鹿子神車・王羲之車の順で西に入る。河水車は一本北の道を西に入り出会いとなる。このとき鹿子神車は出会いの場所で東へ向け交差点角まで下げる。出会い後、王羲之車・河水車・鹿子神車の順で3車が並んで千秋楽まで曳行される。途中、明倫小学校正門の西側で3車が答礼を行う。



祭礼が無事終われる事を感謝するとともに、来年迄の別れを惜しみ三車にたずさわった人達が輪を作り当番町の挨拶の後、手締めをして別れる。